

ステップ 2-2 / 基本 5 文型-話の基本骨格を使いこなす

名詞・冠詞・代名詞

1 名詞

1-1 数えられる名詞

a 普通名詞

b 集合名詞

NOTE: 普通名詞 s

1-2 数えられない名詞

a 固有名詞

b 物質名詞

c 抽象名詞

NOTE 物質名詞の不定の量・
抽象名詞の程度の表し方

NOTE 名詞's+名詞

2 冠詞

2-1 不定冠詞 a(an)

NOTE 不定冠詞 a(an)の特殊位置

2-2 定冠詞 the

NOTE 一家・国民・政治・固有名詞など

3 代名詞

3-1 人称代名詞の用法

a 人称代名詞

b 所有代名詞

c 再帰代名詞

NOTE 話の内容・状況を指す it の用法

3-2 指示代名詞の用法

a 具体的な人やものを指す

this(these), that(those)

b 話の内容を指す this, that

c 名詞の反復をさける that(those)

3-3 不定代名詞の用法

NOTE -thing のテクニック

1 名詞

名詞は人や事物の名前を表す語で、主語・目的語・補語になります。

1-1 数えられる名詞

1 個なのか複数なのかを示し、a(an)を付けたり複数形にします。

a 普通名詞

普通名詞は人・物・事を表し、student(生徒), desk(机), book(本)などの見えるものと、day(日), hour(時間), mile(マイル)などの数量の単位になるものがあります。

リサは ~食べた 一つの卵といくつかのサンドイッチを 昼食に←

Lisa ate **an egg and some sandwiches** for lunch.

📖 一つの卵 / an egg、いくつかのサンドイッチ / some sandwiches

b 集合名詞

集合名詞は人・物・事の集合体を表し、family(家族), crowd(群衆), class(クラス), committee(委員会), public(大衆), staff(職員), team(チーム)などがあります。

悠太の 家族は 住んでいます 郊外住宅に←

Yuta's **family lives** in the suburbs house.

📖 集合体を一つに考える場合は単数扱い

悠太の 家族は です 皆大変元気←

Yuta's **families are** all very well.

📖 集合体の家族の一人一人を重要視する場合は複数扱い

NOTE 普通名詞 s

◆ 普通名詞 s は、種類全体や一般的な概念の総称を表す

Dogs are faithful **animals**. 犬(種類全体)、動物(種類全体)

Oranges are sweet. オレンジ(一般的な概念)

I'm bad at talking to **girls**. 女の子(一般的な概念)

Gifts are good for family. 贈り物(一般的な概念)

◆ the+普通名詞 s は、一定範囲内にある限られたもの全体を示す

The boxes belong to him. (それらの)箱(全て)

Don't touch **the toys** on the table. (それらの)おもちゃ(全て)

The foreigners in the room are from U.S.A. 外国人(皆)

◆ a(two など)+pair(s) of+普通名詞 s

a pair of dancers 1 ペアのダンサー

two pairs of trousers 2 組のズボン

◆ 人称代名詞の所有格・指示代名詞 these, those・その他数詞+普通名詞 s

I always go to lunch with **my friends**. 私の友達

Your ideas are useful for **our students**. 君のアイデア、私たちの生徒

These dresses become nice. これらのドレス

Those hybrid cars sell well. それらのハイブリッド車

My aunt keeps **five cats** in her villa. 5 匹の猫

◆ many(few, some, any, both, other, all など数量形容詞)+普通名詞 s

I have as **many books** as you. 多くの本

He has **few friends**. 友達がわずかしかない

Haven't you **some computers**? いくつかのコンピューター

Has he **any cell-phones**? いくつかの携帯電話

There are books on **both desks**. 両方の机

A Model change into **other clothes**. ほかの着物

All employees have their duties. 全ての従業員

1-2 数えられない名詞

a(an)がつかず、複数形也没有せん。

a 固有名詞

国名・地名・人名などを表し、常に大文字で始めます。Japan(日本), Paris(パリ), George(ジョージ), April(4月), Independence Day(独立記念日), など

悠太は です 卒業生 東京大学の←

Yuta is a graduate of the University of Tokyo.

b 物質名詞

一定の形のない物質の名を表します。water(水), gold(金), iron(鉄), rain(雨), air(空気), smoke(煙), wood(木材), money(お金), stone(石), cloth(布), など

チーズとバターは 作られる ミルクで←

Cheese and butter are made of milk.

📖 物質名詞の量の表し方

不定の量／much, (a) little, some, any, no, a lot of, など

一定の量／形 a loaf of bread, a slice of ham, a sheet of paper, など

容器 a bottle of milk, a cup of tea, a bottle of wine, など

単位 a pound of butter, three liters of beer, など

c 抽象名詞

性質・動作・状態などの抽象的な概念を表す。art(美術), beauty(美), honesty(正直), love(愛), peace(平和), success(成功), science(科学), など

健康は です より良い 富より←

Health is better than wealth.

📖 抽象名詞の程度の表し方は、much, (a) little, some, any, no, など

NOTE 物質名詞の不定の量・抽象名詞の程度の表し方

◆ much／多くの

Much rain has fallen for hours. 大量の雨

He has not had much experience. 多くの経験

◆ a little／少しの、わずかな

There is a little wine in the bottle. 少しのぶどう酒

There is a little hope in my life. わずかな望み

◆ Little／少しの～しかない、～ほとんどない

There is little water in the bottle. 少しの水しかない

I gained little advantage from it. 利益がほとんどない

◆ some／物質名詞いくらかの、抽象名詞多少の

Give me some coffee. いくらかのコーヒー

He has some courage. 多少の勇氣

◆ any／物質名詞いくらかの、抽象名詞いくらかの(有無)

Have you any money with you? いくらかのお金

Did you have any sleep? いくらかの眠り

◆ no／少しの～もない

There is no stone on this land. 少しの石もない

She has no freedom in her life. 少しの自由もない

NOTE 名詞's+名詞

◆ 生物's+名詞

Shakespeare's plays シェークスピアの作品

My father's foreign car 私の父の外車

◆ 無生物's+名詞

日時など／last year's general election 昨年の総選挙

重量・価格・距離など／fifteen minutes' walk 15分の徒歩

ある成句／the world's population 世界の人口

2 冠詞

2-1 不定冠詞 a(an)

不定冠詞 a(an)は名詞の前に置かれ、子音発音の名詞の前に **a**、母音発音の名詞の前に **an** を置きます。例えば、a European(発音は子音)であり、an hour(発音が母音)です。

このパズルは 完成されなかった **1日**で←

This puzzle was not completed in a day.

📖 「1、一つの」とはっきり表す／a+単数名詞

母さんは ~水をやる その花に 一度 **一日に(つき)**←

My mother waters the flowers once a day.

📖 「~につき=per」を表す／a+単数名詞

エッフェル塔は 見える もっときれいに **ある距離・いくらか離れた位置**から←

The Eiffel Tower looks more beautiful from a distance.

📖 「ある・いくらか」との意味を表す場合もある

できますか あなたは ~与える 私に **ヒント**を←

Can you give me a hint?

📖 「どれでもよいから一つ」との意味合いを含む

ケン は ~買いたいと思っている **ハイブリッド車**を←

Ken wants to buy a hybrid car.

📖 「いくつかありえる中の一つ」を具体的に思い浮かべる

リサは です (**ある・例の・あの**)頭の**いい少女**←

Lisa is a clever girl.

📖 話し相手の知らない・初めて話題に上る(人・物)に付ける

ジョンは ~望んでいる になることを **エジソンのような人**←

John wishes to be an Edison.

📖 「a+固有名詞」で、「性質・才能・特徴のある人」を表す

悠太は であった **ひとつの誇りになる人** 私達のクラスで←

Yuta was **a pride** in our class.

📖 「a+抽象名詞」で、抽象「誇り」から具体「ひとつの誇りになる人」へ転換する

その住職は ~使いました **ある高級な石を** ~作るために 墓を←

The chief priest has used **a luxury stone** to make a grave.

📖 「a+形容詞+物質名詞」で、不定形の物質を限定して表す

その食品会社は ~期待されている **ある急激な成長を** 今年度に←

The food company is expected **a rapid growth** in this fiscal year.

📖 「a+形容詞+抽象名詞」で、不定形の概念を限定して表す

NOTE 不定冠詞 a(an)の特殊な位置

◆ what(such, quite, rather, many, just)+a+(形容詞)+名詞

What a pretty picture that is! なんて美しい絵

I never saw **such a tall man**. こんなに背の高い人

He is **quite a rich man**. 全くの大金持ち

This is **rather a clever book**. まあ気のきいた本

I tried **many a time**. 幾度も

The new business is **just a success**. まさに成功

◆ how(so, as, too)+形容詞+a+名詞

How fine a sight here is! なんとすばらしい光景

We waited **so long a time**. こんなに長い時間

He is **as good a man as any**. 誰にも劣らぬ良い人

It was **too great a sum**. あまりにも大きい額

◆ half+a+名詞

I can walk **half a mile** in 10 minutes. 半マイル

2-2 定冠詞 the

定冠詞 the は、特定の決まったものを表す名詞の前に置かれ、子音発音の名詞の前では ðə・ザ、母音発音の名詞の前では ði・ジと発音します。

エリは ~飼っています 一匹の犬を ← その犬は です とても小さい ←
Eri keeps a dog. **The dog is very small.**

📖 前に出た名詞に付ける

~閉めてください その窓を ←

Please close the window.

📖 相手にそれとわかる名詞につける

太陽が 輝いています 空に ←

The sun is shining in the sky.

📖 唯一のものを表す名詞につける

NOTE: その他、the earth, the sea, the moon, the east, など

高齢者の人々は ではない より幸福な(状態) 若い人々より ←

The old are not happier than the young.

📖 the+形容詞は「~な人々」を表す

両方の選手が います 優れて 世界選手権では ←

Both the players are good in the world championship.

📖 both, half, double, allなどで限定された名詞につける

春は です 最初の季節 その年の ←

Spring is the first season of the year.

📖 形容詞の最上級 ⇨ P110, the first(最初の), the last(最後の), the very(まさにその), the only(唯一の), the same(同様の)などで限定された名詞

校長先生は 私達の学校の ←1 です 英語を上手に話す人です ←2

The principal of our school is a good English speaker.

📖 説明の節や of-phrase 句などで限定された名詞につける

イギリスでは、塩は 売られている **ポンド単位**で←

In England, salt is sold **by the pound**.

📖 単位を表す the

悠太は ~たたいた **私の肩の部分**を←

Yuta patted **me on the shoulder**.

📖 身体の一部を表す名詞の前に付く the

NOTE 一家・国民・政治・固有名詞など

◆ 家族・一家

the Kennedys ケネディー一家・夫妻 など

◆ 国民の総称

the Japanese 日本人 the Christians キリスト教信者 など

◆ 政治形態の国名

the United Kingdom 英国 など

◆ of-phrase を含む固有名詞

the University of Tokyo 東京大学

the Ministry of Foreign Affairs 外務省 など

◆ 単数固有名詞／海洋・海峡・半島・運河・川・船・列車・公共の建物・新聞

the Pacific 太平洋 the English Channel イギリス海峡

the Scandinavian Peninsula スカンジナビア半島

the Suez Canal スエズ運河 the Shinano River 信濃川

the Titanic タイタニック号 the Shinkansen 新幹線

the Louvre ルーブル美術館 the Times タイムズ紙 など

◆ 複数固有名詞／山脈・群島

the Rockies ロッキー山脈

the Falkland Islands フォークランド諸島 など

3 代名詞

代名詞は名詞の代わりをする語で、次のようなものがあります。

人称代名詞／I, we, you, he, she, it, they などの人称・性・数を持つ代名詞

指示代名詞／this, these, that, those などの目の前にあるものを指したり、文中で前後に述べた語句の内容を指したりする代名詞

不定代名詞／some, any, one などの不特定の人や物を指す代名詞

疑問代名詞／who, which, what (疑問副詞／when, where, why, how)

☞ P24, 25

3-1 人称代名詞の用法

人称代名詞は、I (主格), my (所有格), me (目的格)と格変化をします。

主格／文中で主語(～は、が)になる

所有格／名詞の前に置かれ、所有(～の)を表す

目的格／文中で目的語(～を、に)になる

所有代名詞(～のもの)は、「所有格+名詞」を一語表現

再帰代名詞(～自身)は、文中で目的語になる

それぞれの**人称・単数・複数**は次の通りです。

	主格	所有格	目的格	所有代名詞	再帰代名詞
一人称 単数	I	my	me	mine	myself
複数	we	our	us	ours	ourselves
二人称 単数	you	your	you	yours	yourself
複数	you	your	you	yours	yourselves
三人称 単数	he	his	him	his	himself
	she	her	her	hers	herself
	it	its	it	-	itself
複数	they	their	them	theirs	themselves

a 人称代名詞

私たちは 働いています 製造工場で←

We work in a manufacturing factory.

📖 we は主語・主格になる

リサは ~なった まさに病気に←

彼女の母は ~看病した 彼女を←

Lisa got very sick.

Her mother took care of her.

📖 Her は所有格、her は目的格

あなた達は皆が 出かけた 買い物に←

You all went out for shopping.

📖 主格・目的格+all は、同格として用いる

彼は ~持っている 彼独自のセンスを スポーツの←

He has his own sense of sports.

📖 所有格+own は、「~独自の」という意味になる

人々は 言っています ということを 社会がある 真ただ中に 不景気の←

They are saying that society is in the midst of the recession.

📖 They, You, We は、漠然と「人々は」を表す

b 所有代名詞

この消しゴムは です 私のもの←1、そして それらの鉛筆は です 彼らのもの←2

This eraser is mine, and those pencils are theirs.

📖 my eraser=mine, their pencils=theirs と一語表現している

c 再帰代名詞

ジョンは ~紹介した 彼自身を リサに 事務所で←

John introduced himself to Lisa at the office.

📖 その他、前置詞の目的語 Gold is valuable in itself. それ自体に
慣用表現 I laughed in spite of myself. 思わず
強意用法 I myself did it. 私自身が

NOTE 話の内容・状況を指す it の用法

人称代名詞の it には、話の内容・状況を指す it の用法、また It の特別用法・It の形式主語・It の強調構文があります。

ここでは、話の内容・状況を指す it の用法について理解します。

私は ~残した 伝言を 机に←1、

が・しかし ジョンは ~理解できなかった それを←2

I left a message on my desk, but John couldn't understand it.

📖 it は、すでに出た単数名詞 a message を指している

ケン は ~したかった 飛ぶことを そこに 直接に←1、

が・しかし それは ではなかった 可能←2

Ken wanted to fly there directly, but it wasn't possible.

📖 it は、to 不定詞句を指している

エリは ~好みます ~食べることを 甘いものを←1、

が・しかし 彼女は ~認めようしない そのことを←2

Eri likes eating sweets, but she won't admit it.

📖 it は、前の節を指している

スミス夫妻が けんかをした

誰もいない 思ったのは そんなことを←

Mr. and Mrs. Smith quarreled. Nobody would have thought it.

📖 it は、前の話を指している

ほら、ベルよ

それは 配達人だ

"Listen. That's the bell." "It's the delivery clerk."

📖 It は、その場の状況で相手にそれとわかる人を指している

あの騒音は何だった

それは 私達の犬だった

"What was that noise?" "It was our dogs."

📖 It は、その場の状況で相手にそれとわかる事を指している

3-2 指示代名詞の用法

a 具体的な人やものを指す this(these), that(those)

心理的・距離的に近い位置にある人や物を指す場合は this 単数「こちら・これ」・these 複数「これら」、遠い位置にある人やものを指す場合は that 単数「あちら・あれ」・those 複数「あれら」を用います。

こちらが です マリ、そして あちらが です エリ←2

This is Mari and that is Eri.

📖 近い位置にある人を this、遠い位置にある人を that で表している

私は ~好まない これらを←1、 が・しかし 私は ~いただきます あれらを←2

I don't like these, but I'll take those.

📖 近い位置にあるものを these、遠い位置にあるものを those で表している

b 話の内容を指す this, that

私たちは あります 権利が ~表現する 私たちの考えを 自由に←

これは と呼ばれています 自由 言論の←

We have the right to express our thoughts freely.

This is called freedom of speech.

📖 This は、前の話の内容を指す

マリは ~言った ということを 彼女が ~会った エリに パーティーで←1、

が・しかし そのことは だった 嘘←2

Mari said that she had met Eri at the party, but that was a lie.

📖 that は、前の節の内容を指す

c 名詞の反復をさける that(those)

空気は 九州の です もっときれい それより 東京の←

The air of Kyushu is cleaner than that of Tokyo.

📖 前出の名詞 the air を繰り返さずに that を代用する

3-3 不定代名詞の用法

不定代名詞は、漠然と人や物をさす代名詞で some, any, one, other, another, either, neither, both, each, all などがあり、主語・目的語・補語になります。

ある人たちは ~信じている ということを 金が である 全て ←

Some believe that money is everything.

📖 some / ある人たち、あるもの

私は ~尊敬しています 何人かを 歴史上の 近代の ←

I respect some on the history of modern times.

📖 some / 何人か、いくらか

悠太は ~理解できなかった いくつかを 講義の ←

Yuta didn't understand some of the lectures.

📖 some / 多少、いくつか

あなたは ~持って行ってもよい どれでも これらの本の ←

You may take any of these books.

📖 any / (のうち)どれでも

ジョンは ~貸さない 彼のノートを だれにも 学生の ←

John doesn't lend his notes to any of the students.

📖 any / (のうち)だれにも

しますか だれかが クラスメートの 賛成する あなたに ←

Do any of the classmates agree with you?

📖 any / (のうち)何か、どれか、だれか

私は ~なくしてしまいました 自分の時計を ←

私は ~買わなければなりません もうひとつを ←

I have lost my watch.

I must buy one.

📖 前出の名詞 watch を反復せずに one を用いる

NOTE: it は前に出た名詞と同じもの、one は同種類のものの一つ

ケンが ~います 二人の兄弟が←

一人は います 東京に←1、そして もう一人は います 福岡に←2

Ken has two brothers. **One** is in Tokyo, and **the other** is in Fukuoka.

📖 one~/2人(2つ)のうち1人は~, the other~/他の1人(1つ)は~

一人は 彼の友達^の です フランス人←1、そして 他の人たちは です アメリカ人←2

One of his friends is French, and **the others** are American.

📖 the others/他の人たち、他のもの

私は ~気に入りません この帽子を←

~見せなさい 私に もう一つのものを←

I don't like this cap.

Show me **another**.

📖 another/別のもの・もう一つのもの

いずれかは その二つの答えの 認められるでしょう 委員会によって←

Either of the two answers will be accepted by the committee.

📖 either/(二つのうち)いずれか、どちらも~ない(否定文)

二人とも 彼らの ~話す ドイツ語を←1、

が・しかし どちらも~しない ~話す フランス語を←2

Both of them speak German, but **neither** speaks French.

📖 both/二人とも・両方、neither/どちらも~ない

それぞれは 子供達の ~受け取りました 2000円を←

Each of the children has received 2000 yen.

📖 each/それぞれ、めいめい

全ては 私の家族の ~待っていました 悠太を 駅で←

All of my families were waiting for Yuta at the station.

📖 人の場合の全体 all は、複数扱いになる

全ては 私達の家具の 損害を受けました 氾濫により 川の←

All of our furniture was damaged by the flooding of the river.

📖 数えられない名詞の全体 all は、単数扱いになる

NOTE -thing のテクニック

◆ something 「名詞／何かあるもの・重要人物・けっこうな事」

マリは ～持ってきました **何かあるものを** エリのために←

Mari has brought **something** for Eri.

彼は です **重要人物** 民主党では←

He is **something** in the Democratic Party of Japan.

(それは) です **けっこうな事** (という)のは **誰も怪我をしていない**←

It is **something that nobody got hurt**.

◆ something 「代名詞-肯定文／何かあるもの・事」

悠太は いつも ～試みている **何かある事を** 新しい←

Yuta always tries **something** new.

◆ anything 「代名詞／疑問文・肯定文／何か・何も・どれでも」

しますか あなたは ～持つ **何かを** するための **そのあとに**←

Do you have **anything** to do after that?

私は 知りません **何も** 彼について←

I don't know **anything** about him.

◆ everything 「代名詞／全てのこと・何もかも」

全てのことは ところの **彼が 言った**←1 です 本当←2

Everything that he says is true.

万事は っています うまく←1、(いないです)ね←2

Everything has gone well, hasn't it?

◆ nothing 「代名詞／何もない」

何もありません 興味のあるものが 今日の新聞には←

There is nothing interesting in today's papers.

動名詞・to 不定詞

1 動名詞

- 1-1 基本的用法
- 1-2 前置詞の目的語になる
- 1-3 慣用表現

2 to 不定詞

- 2-1 基本的用法
- 2-2 慣用表現
- NOTE 慣用的な独立 to 不定詞
- 2-3 疑問詞+to 不定詞

動名詞・to 不定詞

動名詞は、原形動詞+ing「**～すること**」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

to 不定詞は、基本 5 文型の名詞用法、修飾語の形容詞用法・副詞用法があります。ここでは、基本 5 文型の名詞用法を理解します。

to 不定詞の名詞用法は、to+原形動詞「**～すること**」の意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

動名詞と to 不定詞を目的語にとる動詞

◆ 動名詞だけを目的語にとる動詞

stop(やめる), finish(終える), give up(あきらめる), avoid(さける), put off(延期する), escape(のがれる), enjoy(楽しむ), mind(気にかける), admit(認める), practice(練習する), など

◆ to 不定詞だけを目的語にとる動詞

ask(頼む), agree(同意する), decide(決める), want(したい), expect(期待する), plan(計画する), promise(約束する), refuse(拒否する), care(気にする), wish(願う), mean(するつもり), など

動名詞と to 不定詞の両方を目的語にとる動詞

◆ どちらでも意味に差が無い動詞

start(始める), begin(始める), continue(続ける), cease(やめる), intend(もくろむ), hate(嫌う), like(好む), love(愛する), など

◆ 動名詞と to 不定詞では意味が違う動詞

remember～ing(～したのを覚えている), remember to～(～するのを忘れない)
forget～ing(～したのを忘れる), forget to～(～するのを忘れる)
try～ing(ために～してみる), try to～(～しようとする・努力する), など

1 動名詞

1-1 基本的用法

～読むことは 英語の本を ではない 容易な(状況) ←

Reading English books is not easy.

📖 動名詞「～読むこと」に「～は」が付いて主語になる

NOTE: 動名詞は、to 不定詞の名詞用法、または形式主語 It～to...構文を用いても同じ意味になります。

= To read English books is not easy. 📖P80

= It is not easy to read English books. 📖P95

NOTE: 動名詞+名詞は「…ための・用の～」の意味で形容詞の働きもします。

sleeping bag / (寝るための袋)寝袋

washing machine / (洗濯用の機械)洗濯機

私達は ～楽しみました ～見ることを 祭りの行進を ←

We enjoyed watching a festival parade.

📖 動名詞「～見ること」に「～を」が付いて目的語になる

エリの趣味は です ～唄うこと 流行歌を ←

Eri's hobby is singing popular songs.

📖 動名詞「～唄うこと」が be 動詞「～です」などにかかり補語になる

NOTE: 進行形(be+～ing) は「～している」、動名詞(be+～ing)は「～することです」という意味になります。

私の母は ～好まない 私が ～見ることを テレビを ←

My mother doesn't like my watching TV.

📖 人称代名詞の所有格 my が、動名詞 watching の前に置かれると、動名詞の意味上の主語になり「私が見ることを」と一体になる

1-2 前置詞の目的語になる

私は ～好みます ～**することを** テニスを←

I am fond **of playing** tennis.

📖 動名詞 playing は、前置詞 of の後ろで目的語になる

～許してください 私を ～**返事をしないことに対して** あなたの e メールに←

Please forgive me **for not answering** your e-mail.

📖 否定形／前置詞+not+～ing

私の息子は ～恐れた **呼び出されることを** 校長室に←

My son was afraid **of being summoned** to the principal's office.

📖 受動態／前置詞+being+過去分詞

悠太は います ～誇って **とったことを** その賞を←

Yuta is proud **of having won** the prize.

📖 完了形／前置詞+having+過去分詞

1-3 慣用表現

私は ～**感じられずにいられなかった** 気の毒に 彼女を←

I **couldn't help feeling** sorry for her.

📖 ～せずにいられない／cannot help～ing

私は ～**話したい気がしました** あの愛想の良い女性に そのとき←

I **felt like talking** to that amiable woman then.

📖 ～したい気がする／feel like～ing

私達は ～**会うのを楽しみにしています** 悠太の婚約者に←

We **are looking forward to meeting** Yuta's fiancé.

📖 ～することを楽しみにしています／be looking forward to～ing

～選ぶことができない どこで働くかを 私の人生において←

There is no selecting where to work in my life.

📖 ～することができない／There is no～ing

(それは) ～わめいても無駄である そのように 法廷で←

It is no use shouting like that in a court.

📖 ～しても無駄だ／It is no use～ing

中国は ～訪れる価値がある 歴史ある場所を←

China is worth visiting historical places.

📖 ～する価値がある／be worth～ing

あなたは ～勉強することに慣れていません 夜遅く←

You are not used to studying late at night.

📖 ～することに慣れている／be used to～ing

NOTE: よく～したものだ／used to+原型動詞

ので 私は ～するのに忙しい 自分の仕事を←1、

私は 出ることが出来ない 事務所から←2

Since I am busy doing my job, I cannot go out of my office.

📖 ～するのに忙しい／be busy～ing

あなたは ～従うことに反対しています 意見に 彼らの多くの人の←

You object to following the opinion of many of them.

📖 ～することに反対する／object to～ing

(それは) いうまでもない (という)のは あなたが とる 責任を←

It goes without saying that you take responsibility.

📖 ～いうまでもない／It goes without saying that～

2 to 不定詞

2-1 基本的用法

～登ることは タワーに です 大変おもしろい←

To climb the tower is a lot of fun.

📖 to 不定詞「～登ること」に「～は」が付いて主語になる

悠太は ～決心した なることを 代表者 行事の←

Yuta decided to become a representative of the event.

📖 to 不定詞「～なること」に「～を」が付いて目的語になる

私の父の仕事は です ～買い付けること 衣服を 上海において←

My father's job is to buy clothes in Shanghai.

📖 to 不定詞「～買い付けること」が、be 動詞「～です」などにかかり補語になる

2-2 慣用表現

彼は ～約束した 来ないことを ふたたび ここに←

He promised not to come again here.

📖 否定／not to～

私達の先生は ように思います ～準備している 明日の授業を←

Our teacher seems to be preparing tomorrow's lessons.

📖 進行形／to be+～ing

リサは ように思います になっている 病気の(状態)←

Lisa seems to have been ill.

📖 完了形／to have been～

その石は あまりに重いので←1 彼には 持ち上げることができない←2

The stone is too heavy for him to lift.

📖 あまりに～ので...できない／too～to...

悠太は です 金持ち ～買うのに十分に 4K テレビを←

Yuta is rich **enough to buy** a 4K television.

📖 ～するのに十分に・～するだけ十分に／enough to～

赤ん坊は 寝ているように思われる すやすやと そのソファで←

The baby **seems to be asleep** peacefully on the sofa.

📖 ～のように思われる／seem to～

劇場は たまたま混雑していた イベントのため 昨日←

The theater **happened to be crowded** for an event yesterday.

📖 たまたま～する／happen to～

マリは **きっと来ます** 9時までに←

Mari **is sure to come** by nine o`clock.

📖 きっと～する／be sure to～, 確かに～する／be certain to～,
～しそうだ／be likely to～, 熱心に～する／be eager to～, など

NOTE 慣用的な独立 to 不定詞

To tell you the truth,～ 本当のことを言えば～

Strange to say,～ 不思議な話だが～

To be honest,～ 正直なところ～

So to speak,～ 言わば～

Needless to say,～ 言うまでもないことだが～

To be frank,～ 率直に言うと～

To be sure,～ 確かに～

To be brief,～ 手短かに言えば～

To begin with,～ 第一に～

To make matters worse,～ なお悪いことには～

To say nothing of～,... ～は言うまでもなく...

Not to say～,... ～とは言えないまでも...

2-3 疑問詞+to 不定詞

「疑問詞+to 不定詞」は、「何を what, いつ when, どこで where, どのように how, どちらの～を・に which+名詞+～するか to 不定詞」という意味で、名詞の働きをして主語・目的語・補語になります。

何を習うかが 次に です 私達の疑問←

What to learn next is our question.

📖 疑問詞+to 不定詞「何を習うか」に「～が」が付いて主語になる

～言ってください 私に いつ去るべきかを 福岡を←

Please tell me **when to leave** Fukuoka.

📖 疑問詞+to 不定詞「～いつ去るべきか」に「～を」が付いて目的語になる

問題は でした ～どこで食べるか 昼食を←

The problem was **where to eat** lunch.

📖 疑問詞+to 不定詞「～どこで食べるか」が、be 動詞「～です」などにかかり補語になる

どのように描くかは 絵を 次第です あなたの考え←

How to describe a picture depends on your idea.

📖 主語

しますか あなたは ～知る ～どのように開けるかを この箱を←

Do you know **how to open** this box?

📖 目的語

彼の迷いは です どちらのバスに乗るか これから←

His hesitation is **which bus to take** from now.

📖 補語

形容詞・分詞・原形不定詞・SVO+to 不定詞

1 形容詞

1-1 S+V+C

1-2 S+V+O+C

2 分詞

2-1 S+V+C

a 現在分詞

b 過去分詞

2-2 S+V+O+C

a 現在分詞

b 過去分詞

3 原形不定詞

3-1 S+V(知覺動詞)+O+C

3-2 S+V(使役動詞)+O+C

NOTE 原型不定詞を含む慣用表現

4 SVO+to 不定詞

形容詞・分詞・原形不定詞・SVO+to 不定詞

形容詞は、「どんな性質・状態にあるのか」を述べる語で、**叙述用法**と**限定用法**があります。

叙述用法は、「He is tall／彼は背が高い」と有様を述べる用法です。

限定用法は、「big box／大きな箱」と名詞・代名詞を直接に修飾する用法です。

ここでは、**叙述用法**の第 2 文型 **S+V+C** で主語を、第 5 文型 **S+V+O+C** で目的語を説明する補語用法を理解します。

分詞は、**現在分詞**と**過去分詞**があり、**現在分詞**は「～している」という意味で時制の進行形を表し、**過去分詞**は「～してしまった」という意味で時制の完了形を、また「～された」という意味で受動態を表します。

分詞は、基本 5 文型の補語用法、名詞を直接に修飾する用法、そして分詞構文があります。

ここでは、**現在分詞**と**過去分詞**の第 2 文型 **S+V+C** で主語を、第 5 文型 **S+V+O+C** で目的語を説明する補語用法を理解します。

原形不定詞は、「to なし不定詞」と呼ばれ、**知覚・使役**を表す**動詞**と共に使われ、第 5 文型 **S+V+O+C** で目的語を説明する補語用法を理解します。

SVO+to 不定詞は、**希望・予測・判断・許可・依頼・命令**を表す**動詞**と共に使われ、第 5 文型 **S+V+O+C** で目的語を説明する補語用法を理解します。

1 形容詞

1-1 S+V+C

全てのドアが だった 開いた(状態) 突風により←

All the **doors** were **open** by a gust of wind.

📖 補語が主語を説明している

私は (に)なります 緊張した(状態) ティーショットの前に ゴルフの←

I get **nervous** before a tee shot of golf.

📖 補語が主語を説明している

悠太は (を)保った 平静な(態度) 地震の間 揺れている 激しく←

Yuta kept **calm** during the earthquake shaking intensely.

📖 補語が主語を説明している

1-2 S+V+O+C

マリは (に)しておいた 全てのドアを 開けた(状態)←

Mari left **all the doors open**.

📖 補語が目的語を説明して、「全てのドアを開けた(状態)」と一体になる

あなたは (に)保たなければならない 部屋を きれいな(状態)←

You must keep **your room clean**.

📖 補語が目的語を説明して、「部屋をきれいな(状態)」と一体になる

エリは (と)わかった 宿題が やりかけの(状態)←

Eri found **her homework half-finished**.

📖 補語が目的語を説明して、「宿題がやりかけの(状態)」と一体になる

2 分詞

2-1 S+V+C

a 現在分詞

現在分詞は、「～している・しながら…」という進行の状態を表します。

子供たちは 立っていた ～待ちながら バスを←

The children stood waiting for a bus.

📖 補語が主語を説明している

(それは) ままであった 雨が降っている 1 週間←

It kept raining for a week.

📖 補語が主語を説明している

b 過去分詞

過去分詞は、「～されている・なっている…」という受身の状態を表します。

悠太は ように見えた 満足している 私の説明について←

Yuta looked satisfied with my explanation.

📖 補語が主語を説明している

その家は ままである おおわれている 深い雪で←

The house remains covered with deep snow.

📖 補語が主語を説明している

先生は (状態で)座った 囲まれている 生徒たちに←

The teacher sat surrounded by his students.

📖 補語が主語を説明している

2-2 S+V+O+C

a 現在分詞

現在分詞は、「(目的語)が~している」という進行の状態を表します。

エリは ~(のを)見た 悠太が ~している テニスを 放課後←

Eri saw Yuta playing tennis after school.

📖 補語が目的語を説明して、「悠太がしている」と一体になる

私は ~(のを)感じた 私の車が 揺れている 激しく←

I felt my car shaking terribly.

📖 補語が目的語を説明して、「その車が揺れている」と一体になる

あなたは ~(のを)そのままにしてはいけない その火が 燃えている 庭で←

You must not keep the fire burning in the garden.

📖 補語が目的語を説明して、「その火が燃えている」と一体になる

b 過去分詞

過去分詞は、「(目的語)が~されている・なっている」という受身の状態を表します。

私は ~(のを)聞いた 私の名前が 呼ばれる 後ろから←

I heard my name called from behind.

📖 補語が目的語を説明して、「私の名前が呼ばれる」と一体になる

時に ケンが 起き上がった←1、彼は ~(の)気づいた 足が 折れている←2

When Ken got up, he found his leg broken.

📖 補語が目的語を説明して、「足が折れている」と一体になる

3 原形不定詞

3-1 S+V(知覚動詞)+O+C

「(主語)は+(知覚)する+(目的語)が～(原形不定詞)する」と表します。

知覚動詞は、see(見る), hear(聞く), feel(感じる), find(見つける), notice(気づく), observe(気づく), watch(見守る), など

私は ～(の)を見た マリが ～出て行く その部屋を 昨夜←

I saw Mari leave the room last night.

📖 補語が目的語を説明して、「マリが出て行く」と一体になる

私は ～(の)感じた 私の手が 震える 最初のティーグラウンドで←

I felt my hands tremble at the first teeing ground.

📖 補語が目的語を説明して、「私の手が震える」と一体になる

3-2 S+V(使役動詞)+O+C

「(主語)は+使役動詞/make させる(強制), let させてください(許可), have させる(使役), have してもらう(依頼)+(目的語)に・を～(原形不定詞)する」と表します。

ケン は ～させた 息子に ～習う 英語を イギリスで←

Ken made his son learn English in the U.K.

📖 補語が目的語を説明して、使役動詞と共に「息子に習わせた」となる

～させてください 私に ～説明する その報告書を 詳細に 今日の会場で←

Let me explain the report in detail at today's meeting.

📖 補語が目的語を説明して、使役動詞と共に「私に説明させてください」となる

私は ~させたくない あなたに 行く 夕食に 彼との←

I don't like to **have you go** for a dinner with him.

📖 補語が目的語を説明して、使役動詞と共に「あなたに行かせたくない」となる

私は ~してもらった 時計を 修理する 人に お店の←

I **had my watch mend** by the person of the shop.

📖 補語が目的語を説明して、使役動詞と共に「時計を修理してもらった」となる

私は ~してもらった マりに ~撮る 私の写真を←

I **had Mari take** my photo.

📖 補語が目的語を説明して、使役動詞と共に「マりに撮ってもらった」となる

NOTE: ~してもらう/get+人+to 不定詞

I got Mari to take my photo.

NOTE 原形不定詞を含む慣用表現

原形不定詞は、知覚・使役動詞の文で用いられるほか、次のような慣用表現にも用いられます。

私は 思います あなたは ~とるほうがよい 少しの休憩を←

I think **you had better take a little rest.**

📖 ~したほうがよい/had better+原形不定詞

NOTE: 直接 You had better~と言うと失礼にあたるので、I think~を付けます。

私は ~感じざるを得ない 気の毒に思う その若者を←

I **cannot but feel sorry** for the young man.

📖 ~せざるを得ない/cannot but+原形不定詞

NOTE: 口語的な表現では cannot help+~ing となります。

4 SVO+to 不定詞

- ◆ 「(主語)は+(希望)する+(目的語)が～(to不定詞)である(と)・する(のを)」
Want(望む、してほしいと思う), など

私は ～望んでいます あなたが 料理をする(のを) 私のために←

I want **you to cook** for me.

📖 補語が目的語を説明して、「あなたが料理する(のを)」と一体になる

- ◆ 「(主語)は+(予測・判断)する+(目的語)が～(to不定詞)である(と)・する(のを)」
believe(信じる), expect, think(思う), consider, know(考える), find(わかる), understand(了解する), feel(感じる), など

人々は 信じています 松山が 天才である(と) 世界のゴルファーの中で←

The people believe **Matsuyama to be a genius** among world golfers.

📖 補語が目的語を説明して、「松山が天才である(と)」と一体になる

- ◆ 「(主語)は+(許可)する+(目的語)が～(to不定詞)する(のを)」
allow, permit(許す), enable(可能にする), など

私の父は ～許してくれた 悠太が 勉強する(のを) 外国で←

My father allowed **Yuta to study** abroad.

📖 補語が目的語を説明して、「悠太が勉強する(のを)」と一体になる

- ◆ 「(主語)は+(依頼・命令)する+(目的語)に～(to不定詞)する(ように)」
tell(告げる), ask(頼む), request(要求する), remind(気付かせる), など

私の母は ～言った 私に 食べる(ように) 野菜をもっと←

My mother told **me to eat** vegetables more.

📖 補語が目的語を説明して、「私に食べる(ように)」と一体になる

無生物主語・There 構文・It の用法

1 無生物主語

2 There 構文

3 It の用法

3-1 It の特別用法

3-2 It～to...／形式主語

3-3 It～that...／形式主語

3-4 It～that...／強調構文

NOTE 強調語句・倒置

1 無生物主語

英語では人や動物を主語にしないで、物や抽象的な概念を主語にする無生物主語の用法があります。

日本語訳は、無生物主語を副詞的に訳すことで、目的語の人が主語になり、動詞の訳が工夫されています。その日本語訳は参考として NOTE にて説明しています。

健康は ~可能にした 彼が 働くことを 昼夜←

Good health enabled him to work day and night.

📖 主語+enable, cause, force, allow+目的語(人)+to 不定詞

NOTE: 「健康のおかげで、彼は昼夜働く事ができた」

その嵐は ~妨げた 私達が 行くことを 船旅に←

The storm prevented us from going on the boat trip.

📖 主語+prevent, stop, keep+目的語(人)+from~ing

NOTE: 「嵐のせいで、私達は船旅に行けなかった」

この道は ~導きます あなたを 駅に 近道として←

This road takes you to the station as a short cut.

📖 主語+take, lead+目的語(人)+to+名詞

NOTE: 「この道を行けば、近道としてあなたを駅に導きます」

今日の新聞は ~言っています ということを 台風が 近づいている 沖縄に←

Today's newspaper says that a typhoon is approaching Okinawa.

📖 主語+say, tell+that~

NOTE: 「今日の新聞によると、台風が沖縄に近づいていると言うことだ」

2 There 構文

「There～主語…」は、主語が文中に置かれ「…主語が～ある」という意味になります。

(そこに)ある ただ一軒だけのコンビニが この地域には←

There is only one convenience store in this area.

📖 主語 one house が単数／There is～

(そこに)あった 二つの橋が 川を横切る 以前←

There were two bridges across the river before.

📖 主語 two bridges が複数／There are～

ありますか(そこに) いくらかのミルクが そのビンには←

Is there any milk in the bottle?

📖 疑問文／Is there～

(そこに)あるでしょう ダンスパーティーが 公民館で 明日←

There will be a dance party at the community center tomorrow.

📖 未来形／There will be～

(そこに)まったくありませんでした 時間が ～説明をする その状況を←

There was no time to explain the situation.

📖 強い否定文／There is no～

(そこに)ありました 知らせが 結婚の 私の息子から 今←

There has been news of the marriage from my son now.

📖 現在完了形／There have(has)+過去分詞～

問題は である ということ (そこに)ある 欠如が 政策の←

The problem is that there is lack of policy.

📖 there 構文が名詞節の that 用法の中で使われる

3 It の用法

3-1 It の特別用法

人称代名詞の it には特別用法があり、It(それは)が主語になり、天候・時間・費用・距離・明暗・漠然とした状況を表しますが、It(それは)は日本語訳されません。

(それは) 雪が降るでしょう 午後は←

It will snow this afternoon.

📖 天候

(それは) かかりました (私に) かなり長い時間 着くのに そこへ←

It took me quite a long time to get there.

📖 時間

(それは) かかりました (私に) おおよそ 400 万円 ~買うのに ハイブリッドカーを←

It costs me about four million yen to buy the hybrid car.

📖 費用

(それは) です 長い道のり ここから駅まで←

It is a long way from here to the station.

📖 距離

前に (それは) ~なる 暗く←1、 ~言いましょう さよならを←2

Before it gets dark, let's say good-by.

📖 明暗

(それは) います 全てに終わって(万事休す) 私にとって←

It is all over with me.

📖 漠然とした状況

3-2 It～to...／形式主語

It～to...／形式主語は「...するのは～だ」という意味で、to...以下が真主語になり、形式主語 It(それは)は日本語訳されません。

(それは) です やさしい ～追加するのは 絵を 文書に←

It is easy to add pictures to the document.

📖 It is～to...、～の部分は名詞・形容詞になる

NOTE: It～to...／形式主語は、動名詞・to 不定詞の名詞用法を用いても、同じ意味になります。

= Adding pictures to the document is easy. 📖P77

= To add pictures to the document is easy. 📖P80

(それは) ～にさせます 私を 悲しい(状態) 思うのは 彼女の死を←

It makes me sad to think of her death.

📖 It～to...、～の部分は一般動詞になることもある

ですか (それは) 難しい 彼が ～読むのは 本を 英語の←

Is it difficult for him to read books in English?

📖 It～for～to...は、「だれが...するのは～だ」という意味で、「for+固有名詞・代名詞の目的格」は to 不定詞の意味上の主語で行為者を表す

(それは) でした 不注意 彼女の 出かけるのは 一人で←

It was careless of her to go out alone.

📖 It is～of～to...は、It is～の部分に人の性質・態度の形容詞が来ると「of+人」になり、「...するのは～の～だ」という意味で、to 不定詞の意味上の主語の性質・態度を表す

NOTE: 性質・態度の形容詞には kind, nice, clever, polite, stupid, silly, wrong, weak などがあります。

3-3 It~that.../形式主語

It~that.../形式主語は「...(という)のは・が~だ」という意味で、that 節が真主語になり、形式主語 It (それは)は日本語訳されません。

(それは) です 重要な(こと) (という)のは あなたが ~従う その規則に←

It is important that you follow the rules.

📖 It is+形容詞+that...

(それは) 言われています

(という)のが 彼は である 一番の金持ちの男 この商店街で←

It is said that he is the richest man in this shopping arcade.

📖 It is+過去分詞+that...

(それは) です 不思議 (という)のは お金が 消えた あの金庫から←

It is a mystery that the money disappeared from that safe.

📖 It is+名詞+that...

ですか (それは) 残念 (という)のは 彼女が 来ない 私達のパーティーに←

Is it a pity that she doesn't come to our party?

📖 Is it+名詞+that...

(それは) 思われる 悠太は 驚いている そのニュースを聞いて←

It seems (that) Yuta is surprised at the news.

📖 It seems+(that)が、省略されることもある

(それは) あなた次第だ かどうかは あなたが 留まるか(留まら)ない ここに←

It is up to you whether you stay or not here.

📖 It is~whether...or not が、形式主語にもなる

(それは) はっきりしていない

(のは)なぜかが 彼が 行く 外国に 今年の終わりまでに←

It is not clear why he goes to the foreign country by the end of this year.

📖 It is~疑問詞 who, which, what, when, where, why, how が、形式主語にもなる

3-4 It~that...／強調構文

It~that...／強調構文は「...(という)のは・が~だ」という意味で、~の部分に強調したい語句(主語・目的語・補語や副詞・句・節)を置きます。

It~that...／形式主語と同様に、that 節が真主語になり、形式主語 It (それは)は日本語訳されません。

次の例文のそれぞれを強調構文にしてみましょう。

私は ~会った ケンに ちょうど 10 時に 昨日の←

I met Ken just at ten o'clock of yesterday.

(それは) でした 私 (という)のは ~会った ケンに ちょうど 10 時に 昨日の←

It was I that met Ken just at ten o'clock of yesterday.

📖 主語の強調

(それは) でした ケン (という)のは 私が ~会った ちょうど 10 時に 昨日の←

It was Ken that I met just at ten o'clock of yesterday.

📖 目的語の強調

(それは) でした ちょうど 10 時 (という)のは 私が ~会った ケンに 昨日←

It was just at ten o'clock that I met Ken yesterday.

📖 句の強調

(それは) でした 昨日 (という)のは 私が ~会った ケンに ちょうど 10 時に←

It was yesterday that I met Ken just at ten o'clock.

📖 副詞の強調

(それは) でした から ケンが いた 怠けて←2 (という)のは ケンが 失敗した←1

It was because Ken was lazy that Ken failed.

📖 節の強調

NOTE 強調語句・倒置

◆ 動詞を強調する助動詞 do(does, did)

してください **ぜひとも出席する** パーティーに←

Please **do be present** at the party.

📖 助動詞 do(does, did)+原形動詞で、動詞を強調して「ぜひとも～する」を表す

◆ very, oneself, on earth などの強調語句

これは です **まさにその**レコード **ところの** 私が^が ～探していた←

This is **the very record that I was looking for.**

📖 名詞を強調する very(まさにその)

大統領 **彼自身が** 言った **そのように**←

The President **himself** said so.

📖 名詞を強調する再帰代名詞 oneself(～自身)

一体何を←1 ですか あなたは ～している **ここで**←2

What on earth are you doing here?

📖 疑問詞を強調する on earth(一体～)

◆ 強調のため倒置「So, Neither + V + S」

彼女は 行きました 映画に←

She went to the movies.

そのようににしました **私も**←

So did I.

📖 So+動詞 did+主語 I

彼は 好みません お茶を←

He doesn't like tea.

また好みません **私も**←

Neither do I.

📖 Neither+動詞 do+主語 I